くみあいNEWS

第　１５３９８　号
2025年９月26日(金)
発　行　責　任　者
日本製鉄和歌山労働組合
組　織　教　宣　部
WAKAYAMA WORKERS' UNION

組合ＨＰ　組合 LINE

代表内線番号　和歌山地区(本部)　543590
堺地区　652990／海南地区　545555

日本製鉄労連「第16回定期大会」報告

日本製鉄労連は９月３日(水)、「第 16 回定期大会」をホテルクラウンパレス浜松で開催し、和歌山労組からは 10 名が代議員として参加しました。

大会議案である第１号議案「第８期運動方針(案)」に対し 18 単組から原案賛成の立場で補強意見が出され、和歌山労組からは三木代議員が「死亡災害の撲滅と安全に強い人と職場環境の構築」「雇用基盤の確立に向けた企業・グループ経営対策の強化」の２点について補強意見を述べました。第１号議案をはじめ、第２号議案「2026 年度諸会計予算(案)」第３号議案「規定の一部改訂について(案)」第４号議案「役員選挙に関する件(案)」第５号議案「第８期役員推せん委員会の設置と構成について(案)」第６号議案「外部団体派遣者の推薦に関する件(案)」の全てが、満場一致で可決・決定されました。


幸野会長

幸野会長挨拶(要旨)

今年に入り、連合会全体で 23 件の休業以上の災害が発生し、日本製鉄では死亡災害２件を含む 12 件が発生している。昨年も死亡災害が２件あり、極めて憂慮すべき状況にある。各職場においては、６則をはじめとするルール遵守や TBM・KY 活動など、安全に強い職場づくりに取り組んでいるが、改めて「安全が第一優先」であり「品質が第二優先」「生産が第三優先」であることを徹底する必要がある。安全は現場力の指標であり、職場を守るためにも不可欠である。単組・支部としても危機感を持って取り組んでいただくようお願いする。その上で、ルール遵守の徹底と規律ある行動、相互注意の実践など、「基本行動の徹底」「基本を守る」ことを、繰り返し職場に呼び掛けていただくようお願いする。

次に経営対策の取り組みについては、会社は年内に新たな中長期経営計画を公表予定で、国内製鉄事業の強化・再構築が最重要課題である。鋼材需要は 1992 年の１億ｔから、2025 年には 4,900 万ｔと約 30 年で半減するという実態にある。世界的にも鋼材消費は減少傾向であり、中国の過剰生産が世界市況を悪化させ、鉄鋼メーカーの収益を圧迫しているという構図となっている。この問題は、中国経済の回復に見通しが立っていないだけに、長期化するとの見方がされている。

そうした中、日本製鉄は実力ベース事業利益で 2024 年度に 7,937 億円、2025 年度は USS 除き 6,500 億円、含めて 7,300 億円の見通しである。世界の鉄鋼事業環境が危機的な状況の中、相応の利益水準を確保できているのは、組合員の協力・努力による経営施策の成果であり、改めて敬意と感謝を申し上げる。

７月の日経新聞で橋本会長のインタビュー記事では「今こそ集中投資の時。国内製鉄事業の技術力を守り抜く」と語っており、こうした考えを基本に新たな計画が策定される見込みである。いずれにしても、経営諸施策への対応については国内製鉄事業における雇用の確保を最優先に、企業の持続的成長につながるものなのか、組合員の将来に希望がもてるのか、健全な労使関係の維持を基本に、単組とも連携を図り、丁寧に対応する考えである。

今年の AP 春季交渉では、大きなテーマは、世間的には「物価上昇を上回る賃金の引上げ」「人材確保・定着」「人材獲得競争の激化」であり、それに加え我々は、「人材確保・定着と活力発揮」、「金属産業トップクラスの賃金水準の維持・向上」であった。前期の AP24 で 35,000 円、AP25 で 12,000 円、合計 47,000 円の賃金改善を果たすことができた。これは過去 31 年間の賃金改善のトータル 30,000 円を上回る成果であり、鉄鋼産業の魅力向上に大きく貢献したものとなった。来年の AP26 については総合改善年度として、単年度交渉も視野に入れ、柔軟かつ効果的な取り組みを検討していく。

今年の７月の参議院選挙では、JAM 出身の郡山りょう氏が当選を果たすことができた。単組・支部役員の皆さんのご協力に改めて感謝を申し述べる。しかしながら、得票数には課題が残る結果となった。この反省を次回の村田きょうこ選挙にどう活かすかが重要であり、産別・連合会・単組、それぞれがしっかりと総括を行い次へと繋げていかなければならないと考えている。

一方で、「資源・エネルギー問題」「カーボンニュートラルの問題」への対応は、国民の社会生活への影響は勿論のこと、鉄鋼産業にとって極めて重要な課題である。電炉稼働には原発１基分の電力が必要、水素需要も非常に大きく、政治の力を借りて解決すべき問題であるため、村田きょうこ参議院・郡山りょう参議員さらには、基幹労連とも連携を図り、政策制度・産業政策諸課題の解決・改善に積極的に取り組んでいく。

その他にも、WLB 実現に向けた取り組みや、組織・教宣活動の充実・強化、男女共同参画の推進、グループ・関連組合との連携強化など取り組むべき課題は山積している。各単組と連携を密にしながら、一つひとつの課題を着実に前進させ、次世代につなげる活動とすべく取り組み、「日鉄でよかった」と誰もが実感できる連合会のビジョン実現に向け、全力を傾注していくので、引き続き、各単組・組合員の皆さんのご支援・ご協力をお願いする。



▲連合会　がんばろう三唱

日本製鉄労連第8期運動方針（案）に対する和歌山労組の補強意見


三木執行委員

ご安全に！和歌山労組代議員の三木です。

連合会第８期運動方針（案）に対し、原案賛成の立場を明確にした上で、補強意見を申し述べる。

まず「死亡災害の撲滅と安全に強い人と職場の構築」についてである。

関西製鉄所和歌山大阪地区（堺）においては、例年に比べ災害件数が減少しているものの、統計外の死亡災害発生に加え、リスクの抽出不足や不用意な行動による災害・重大ヒヤリが発生している。これらは、会社が経営資源を投入してきた、機械安全をはじめとするハード対策で防ぐことができない、個々人の安全意識・感性に起因するものが大半を占めている。

このようなことから、引き続き、特例作業の削減や設備の老朽化対策などに対する経営資源の投入は不可欠であるが、現場においてはお互いに声を掛け合い、注意を促し合える関係性を築き、規律ある、風通しの良い職場環境の構築に向けて、啓発活動を展開していかなければならない。連合会におかれては、より一層安全に強い人づくりに向けて「個々人の意識・感性」等に着目した安全感度の向上に資する教育の実施など、会社に対しソフト面の強化について意見提言をお願いする。

次に「雇用基盤の確立に向けた企業・グループ経営対策の強化」についてである。

日本製鉄と US スチールのパートナーシップ成立は、世界を舞台により大きな挑戦が始まることや総合力世界 No.1 に向けて大きく飛躍するチャンスでもあり、組合員からは期待と喜びの声があった。一方、国内市場においては、人口減少、労働力不足によるインフラ需要の減少や製造業の海外移転などにより、鉄鋼需要の減少が見込まれることから国内における生産拠点集約への不安など、将来を懸念する声も少なくない。

こうした中、年内に次期中長期経営計画の発表を控えていることから、連合会におかれては、今後示される各種経営施策に対し、雇用確保をはじめとする会社との交渉はもちろん、迅速な情報共有と的確なフォローをお願いする。

最後に、第 27 回参議院議員選挙において、「郡山りょう」氏を国政へ送り出すことができたが、前回に比べて大きく票を落とし、課題を残す結果となった。和歌山労組としては、３年後に向けて、村田きょうこ議員の国会での活躍や実績を広く組合員に伝え、理解と浸透を深める取り組みをさらに強化していく所存である。

いずれにしても、今期も連合会の掲げる方針に対して組織の力を結集し、全力で取り組むことをお誓い申し上げ、第８期運動方針（案）への補強意見とする。

基幹労連「第23回定期大会」報告


津村中央執行委員長

基幹労連は９月４日(木)から５日(金)にかけて、「第 23 回定期大会」を静岡県アクトシティ浜松で開催しました。

津村中央執行委員長挨拶要旨

すべての取り組みの基軸は安全と健康である。今年は既に６件６人の死亡災害が発生しており、危機的状況が続いている。これまでの尊い教訓を活かし、労使で安全で安心な職場環境の構築と安全教育、啓発活動などの取り組みを進めていただいているが、現状は先ほど申しあげたとおりである。

ものづくり産業において、いかに技術革新が進もうとも、働く者の安全と健康をもとにした人の持つ技術・技能の蓄積と研鑽がなければ、産業・企業の発展はありえない。

何としても仲間の命を守る、死亡災害の連鎖に歯止めをかける。自らはもとより仲間の安全を誓い、労働組合の究極の目的である「組合員とその家族の幸せ追及」へとつなげる。このことをあらためて共有し、積極的な活動の展開をお願いする。

日本製鉄和歌山労働組合「第13回定期大会」開催のお知らせ

開催日時：10 月 10 日(金)　16：00 ～
場　　所：組合会館２階　大会議室
議案内容：＜報告事項＞
　　一般経過報告
　　2025 年度決算並びに会計監査報告
　　組合規程の一部改正
＜特別報告＞
　　新労働組合会館の建設について
＜審議事項＞
　　第１号議案　第 55 期運動方針に関する件（案）
　　第２号議案　2026 年度会計予算に関する件（案）

日本製鉄和歌山労働組合第 13 回定期大会の開催に伴い、下記の通り組合会館前の駐車場を駐車禁止とします。ご理解とご協力をお願いします。

【日　　時】：10 月９日(木)　17：00 ～
【対象場所】：組合会館前駐車場（全面）

９月の中央委員会は 29 日を予定しています。
内容については組合ＨＰをご覧ください。